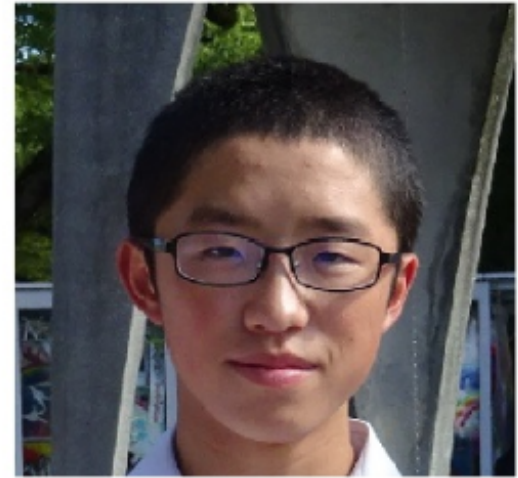


題名 広島に行つて感じたこと



鹿沼市立北 中学校 (氏名) 有馬 拓海

小学生の頃、授業で原爆について勉強しました。それ以外でもテレビで見たり聞いたりしていましたが、実際に広島に行つてみると、本やテレビでは伝わらないものがたくさんありました。原爆ドームは、原爆にFつて破壊された当時のまま残してあります。これを見て、改めて原子爆弾の恐ろしさや威力を感じました。平和記念資料館で見た、皮膚が焼け垂れ下つていふ写真。当時小学生が着ていたぼろぼろになつた服。一発の原子爆弾によつてこれほどの被害をもたらしたり、人の姿をこゝまで変えてしまうことに衝撃を受けました。今、自分がごく当たり前な生活ができていふことのありがたさを感じました。被爆者の方が暮つていたように、二度と戦争を起さしてはいけません。それを、今度は自分達が多くの人に伝えていかなければなりませんと強く思いました。